

理科（化学）授業指導計画

授業者

- 1 日 時 令和5年2月10日（金）5限
- 2 実施場所 23HR教室（南館4階）
- 3 H R 23HR
- 4 生徒観 思考力を問う場面では，周りの生徒と活発に意見を交換することができているが，科学的根拠をもとに論理的に答えることのできる生徒は少ない。知識を結びつけ，科学的に考える力を身につけさせたい。
- 5 単 元 ハロゲンとその化合物
- 6 本時の目標
- ①ハロゲン単体の酸化力について，電子配置や原子半径を用いて科学的に説明することができる。
 - ②問題解決に向けて，他者と協同する態度を養う。
- 7 本時の展開

	指 導 事 項	留 意 点
導入 (5分)	○本時の目標と活動について説明を行う。	ハロゲン単体の酸化力についての復習をするとともに，本時の目標を理解させる。
展開1 (20分)	○原子の電子配置の復習をする。 ○ハロゲン原子の電子配置を考え，原子半径について考える。	○班全員がで理解できるよう互いに教え合うよう指示する。 ○原子核の正電荷の違いに気づかせ，原子半径の大きさを考えさせる。
展開2 (20分)	○酸化力が大きいとは，どういう状態か考える。 ○ハロゲン原子の原子半径と酸化力についてどのような関係があるか考える。	○酸化還元と電子の授受について考えさせる。 ○原子半径と酸化力の関係について考えたことを発表させる。
まとめ (5分)	○本時のまとめをする。	○ハロゲンの原子半径が小さいほど，ハロゲン単体の酸化力が大きくなることを確認させる。